

此花区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第13号

令和5年1月発行

西淀工場施設見学参加者募集



1月25日(水)から電話申し込み開始！！

ごみ分別の必要性や大阪市のリサイクルの流れについて理解を深めていただくために、此花区・西淀川区・福島区の廃棄物減量等推進員（ごみゼロリーダー）を対象に西淀工場の施設見学を実施します。

西淀工場は、市内12区から排出された普通ごみが搬入される施設です。また、敷地内には、資源ごみと容器包装プラスチックの中継地施設もあります。普通ごみの焼却処理や、日頃から分別のご協力をいただいている資源ごみと容器包装プラスチックの排出後の行程を見学してみませんか。



日時 令和5年3月9日(木) 雨天決行

14時～15時30分 (13時40分～受付開始)

場所 大阪広域環境施設組合西淀工場 (大阪市西淀川区大和田2-5-68)

申込方法 1月25日から電話受付 (30名先着順)

阪神電車 福駅から徒歩4分

申込先 西北環境事業センター(普及啓発担当)：☎06-6477-1621

※参加者には改めて行程等について詳細をお知らせいたします。

SDGsの視点からごみ問題を考えてみましょう

ごみ減量連続セミナー

2月17日 PM1:15～3:45

大阪梅田駅前ビジネスセンター

前回のごみゼロリーダーニュースで周知いたしましたセミナーについて、第1回からご参加いただいた推進員の皆様ありがとうございます。第5回「SDGsと私たちの暮らし」で最終回となりますが、随時受け付けておりますので、ご参加いただける方は西北センターまでご連絡ください。

プラスチックごみを分別しよう！

プラスチックによる海洋汚染が深刻な課題となる中、使い捨てプラスチックの使用量を減らすとともに、分別してリサイクルすることが求められています。しかし、此花区では、家庭から排出される容器包装プラスチックの約半分が、分別されずに普通ごみ等に混ざって排出されています。分別を進めるためにはどのようなことに気を付ければよいのでしょうか。



● どんなものが分別されていないの？

容器包装プラスチックの中には、比較的好く分別されているものと、あまり分別されていないものがあります。

◇比較的好く分別されているものの例

台所洗剤のプラボトル	80.9%
卵パック	75.4%
豆腐容器	74.0%
風呂・トイレ洗剤のプラボトル	68.8%
発泡トレイ	68.3%

◇あまり分別されていないものの例

生鮮品等のラップ	15.5%
口栓付きパウチ容器	22.2%
シャンプー等のプラボトル	28.2%
お菓子等の個包装	31.1%
みかんや玉ねぎ等のネット	32.9%

※上記の数字は分別して排出されている割合（令和2年度実績）

例えば、同じプラボトルでも、用途によって分別して排出されている割合に大きな差があります。意識して分別することで、リサイクルにつなげることができます。

● 汚れたまま排出してもいいの？

汚れが付着した容器包装プラスチックは、リサイクルを行う上で問題があるため、食器を洗った後の残り水などでさっとすすいだり、不要な布で拭き取ったりして汚れを除いてから排出してください。



なお、これらの方法で汚れが除けない場合は、普通ごみで排出してください。

プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル！

《編集・発行》

大阪市西北環境事業センター

大阪市西淀川区大和田2-5-66

TEL：06-6477-1621 FAX：06-6477-4602

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

